修法が原定点観察会　2020.3.15 兵庫きのこ研究会

いよいよ、オリンピックイヤー2020の第１回定点観察会の始まりです。

3月のヒロイン
“トガリさん”

　コロナウイルスによる感染症(を受けた風潮)に配慮し、一応マスクを着けてのオープニングです。再度公園内にはお年寄りから若者のグループ、ファミリーまで多くの人が散策や、スポーツを楽しんでいます。まだ春本番には遠いかのような寒さの中でも駐車場が早くからこんなに詰まっているのは珍しい。どうやら会のほうも、満を持してのキノコ観察会と、25名もの参加となりました。いつもはそれほどたくさんのキノコが採れる時期ではないので、あまり期待せずスタートしました。が、どうしたことでしょう。
　お昼のテーブルには、小さなキノコではありますが次々と並んでいきます。お昼を過ぎて匠平くんの最後のキノコ追加が行われると50種にならんとするキノコが集まっていました。結構皆さん頑張りましたね。小さなものから変な形のものまで、よく見つけられました。トガリ・・・も、シイタケも結構な数があったようです。春なのにフウセンタケも。
　この日は前述の風潮への配慮から「短縮授業」としましたが、皆さん目一杯談笑し学習していました。マスクもつけ忘れて・・・折からの冷たい風がだんだん強くなってマスクはほぼ無意味になっていましたから。それにしても百均の付箋は粘着力が弱くてよく飛んでましたね。困ります。さて、風邪に気をつけないと・・・とキノコの名前をほぼつけ終わったところで、あとは自由時間です宣言し、それぞれ三々五々速やかに引き上げられました。概して若手の方が残って整理をしていましたね。さて、最初からこんなにたくさん記録できたので、４月からはもっと気合が要りますよ。
御影高校も自宅謹慎解いて山へ来てください！次回も頑張りましょう。
（※文章は3月に書かれています。4月は新型コロナウイルスによる緊急事態宣言に伴い中止となります。）

ホオジロ

感染には注意しながら

一斉にトガリさん探し

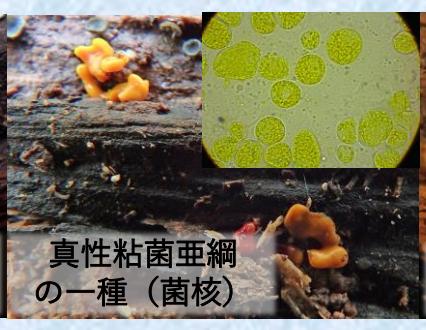
コゲイロサカズキ
ホウライタケ

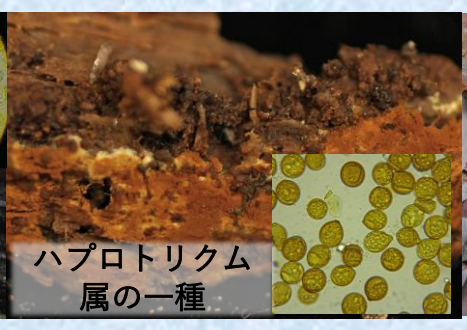
ハナビラニカワタケ

シイタケ

ハナビラダクリオキン

ハイイロクズチャワンタケ属
の一種


真性粘菌亜綱
の一種（菌核）


ハプロトリクム
属の一種

タマキクラゲ

ベニアワツブタケ属
（広義）の一種？

ヒメカバイロタケモドキ

コゲイロサラタケ？

ダンアミタケ

ハイイロクズチャワンタケ属の一種　*Mollisia sp.*　採集・文／和田（匠）　定点初
　広葉樹の材に子実体を形成。
ベニアワツブタケ属（広義）の一種　*Nectria sp.*　採集・同定・文／和田（匠）　定点初
　広葉樹の材に赤色で微小な子実体（子嚢殻）を多数形成。ベニアワツブタケ属のように直径約0.3 mm 、通常子座または宿主基質から裸出し、色鮮やかな子実体（子嚢殻または閉子嚢殻） 内に一重膜の子嚢を持つ核菌は、他にも*Neonectria*や*Bionectria*、*Cosmosporaなど*類縁のが多数あり、それらをネクトリオイド菌類と総称。正確な同定には子嚢殻の壁の構造などを調べる必要があるが、今回は暫定的に広義のベニアワツブタケ属と同定。
コケイロサラタケ属の一種　*Chlorencoelia sp.*　採集・文／和田（匠）　定点初
　広葉樹の材に子実体を多数形成。
ハプロトリクム属の一種　*Haplotrichum sp.*　採集・文／和田（匠）　定点初
　アカマツの材に黄土色～茶色、赤茶色の粉状のコロニーを形成。出芽型の分生子を大量に形成するが、殆ど発芽しないという。類縁の*Allescheriella*にはタブノキキハダカビが知られている。不完全菌であり、有性世代は担子菌の*Botryobasidium*である。
真正粘菌亜綱の一種（菌核）　採取・文／和田（匠）
　広葉樹の材に菌核を形成。検鏡をするとバラバラの細胞が観察されたため、恐らく、真正粘菌の菌核だと考えられる。菌核の検鏡図は文献にもあまり記載されておらず、インターネット上でも確認できないので、貴重な記録と考えられる。従って、参考として記録しておくことにした。湿ったような場所でも、生育に不適な環境であったりすると、変形体が一時的に塊をつくって菌核になるようである。
ヒメシロアミタケ　*Antrodia albida (Fr.) Donk*　同定・文／和田（匠）　定点初
ダンアミタケ　*Antrodia serialis [non (Fr.) Donk] sensu* Yasuda　採集・同定・文／和田（匠）　定点初
　アカマツの材に子実体を形成。

2020年 3月 15日　　観察記録　　天候：曇り　参加者： 25人 同定： 58種

	和名	属名(新分類)	科名(新分類)
1	コケイロサラタケ属の一種	コケイロサラタケ属	ヘミファキディウム科
2	アクニオイタケ	クヌギタケ属	クヌギタケ科
3	アナタケ	ウスカワタケ属	アナタケ科
4	アラゲキクラゲ	キクラゲ属	キクラゲ科
5	エノキタケ	エノキタケ属	タマバリタケ科
6	カイガラタケ	カイガラタケ属	タマチョレイタケ科
7	カラムラサキハツ	ベニタケ属	ベニタケ科
8	カワラタケ	シロアミタケ属	タマチョレイタケ科
9	キウロコタケ	キウロコタケ属	ウロコタケ科
10	キクラゲ	キクラゲ属	キクラゲ科
11	キヒラタケ	キヒラタケ属	フサタケ科
12	クジラタケ	シロアミタケ属	タマチョレイタケ科
13	クロコブタケ	アカコブタケ属	クロサイワイタケ科
14	クロハナビラタケ	クロムラサキハナビラタケ属	ビョウタケ科
15	クロメロスポリウム属の一種	クロメロスポリウム属	チャワンタケ科
16	コゲイロサカズキホウライタケ	モリノカレバタケ属	ツキヨタケ科
17	コゲチャクサカレハタケ	モリノカレバタケ属	ツキヨタケ科
18	シイタケ	シイタケ属	ツキヨタケ科
19	シハイタケ	シハイタケ属	タマチョレイタケ科
20	シワタケ	シワウロコタケ属	シワタケ科
21	スギカワタケ（青木仮）	スギカワタケ属	タマバリタケ科
22	タマキクラゲ	ヒメキクラゲ属	キクラゲ科
23	ダンアミタケ	ヒメシロアミタケ属	ツガサルノコシカケ科
24	チウロコタケ	キウロコタケ属	ウロコタケ科
25	チャカイガラタケ	チャミダレアミタケ属	タマチョレイタケ科
26	チャコブタケ	チャコブタケ属	クロサイワイタケ科
27	ツガサルノコシカケ	ツガサルノコシカケ属	ツガサルノコシカケ科
28	ツバキキンカクチャワンタケ	ニセキンカクキン属	キンカクキン科
29	テングタケ属の一種	テングタケ属	テングタケ科
30	トガリアミガサタケ	アミガサタケ属	アミガサタケ科
31	ニガクリタケ	ニガクリタケ属	モエギタケ科
32	ニセヒメチチタケ	カラハツタケ属	ベニタケ科
33	ヌルデタケ	ヌルデタケ属	カンゾウタケ科
34	ネンドタケ	サビアナタケ属	タバコウロコタケ科
35	ハイイロクズチャワンタケ属の一種	ハイイロクズチャワンタケ属	ハイイロチャワンタケ科
36	ハカワラタケ	シハイタケ属	タマチョレイタケ科
37	ハチノスタケ	ハチノスタケ属	タマチョレイタケ科
38	ハナビラダクリオキン	アカキクラゲ属	アカキクラゲ科
39	ハナビラニカワタケ	シロキクラゲ属	シロキクラゲ科
40	ハプロトリクム属の一種	ハプロトリクム属	ボトリオバシディウム科
41	ハルノウラベニタケ	ヒカゲウラベニタケ属	イッポンシメジ科
42	ヒイロタケ	シュタケ属	タマチョレイタケ科
43	ヒメカバイロタケモドキ	ヒメカバイロタケ属	ガマノホタケ科
44	ヒメキクラゲ	ヒメキクラゲ属	キクラゲ科_
45	ヒメシロアミタケ	ヒメシロアミタケ属	ツガサルノコシカケ科
46	ヒメモグサタケ	ヤケイロタケ属	シワタケ科
47	フウセンタケ属の一種1	フウセンタケ属	フウセンタケ科
48	フウセンタケ属の一種2	フウセンタケ属	フウセンタケ科
49	フウセンタケ属の一種3	フウセンタケ属	フウセンタケ科
50	フウセンタケ属の一種4	フウセンタケ属	フウセンタケ科
51	フクロシトネタケ	フクロシトネタケ属	フクロシトネタケ科
52	ベニアワツブタケ属（広義）の一種	ベニアワツブタケ属	ベニアワツブタケ科
53	ホウロクタケ	ホウロクタケ属	ツガサルノコシカケ科
54	マツオウジ	マツオウジ属	キカイガラタケ科
55	ミイノモミウラモドキ	イッポンシメジ属	イッポンシメジ科
56	ムササビタケ	ナヨタケ属	ナヨタケ科
57	リティズマ目の一種	-	-
58	ワサビタケ	ワサビタケ属	クヌギタケ科
※	真正粘菌亜綱の一種（菌核）	-	-
※	盤菌綱（広義）の一種	-	-

アクニオイタケ

キクラゲ

スギカワタケ
（青木仮）

ツバキキンカク
チャワンタケ

ハチノスタケ

ハルノウラベニタケ

ヒメキクラゲ

フクロシトネタケ

付箋記入：中嶋、和田(匠)、伊藤ほか　文章：中嶋　写真：和田(匠)、和田(貴)、伊藤　HP更新：三輪 整理：中川